

## 学級活動と道徳との関連を踏まえた情報モラル教育(2時間)

12月15日(火) 全学年 学級活動 「身近にひそむネット依存」

**【目標】**

学校生活や日常生活に支障を及ぼす危険性を理解するとともに、自己管理と適切なインターネットとの関わり方を主体的に実践できるようにする。

**【内容の取扱い】**

特別活動 学級活動 (2)オ 望ましい人間関係の確立  
キ 心身ともに健康で安全な生活態度や習慣の形成



12月16日(水) 1学年 道徳 「言葉の向こうに」

**【ねらい】**

それぞれの立場を尊重し、いろいろなもの見方や考え方があることを理解して、寛容の心をもとうとする態度を育てる。

**【内容項目】** 2-(5)

**【資料】**私たちの道徳 P78

**【指導のポイント】**自分の発する言葉の向こうにそれを受け取る他者がいることを想像させることで、ネット社会におけるよりよいコミュニケーションの在り方について考えさせるようにする。

12月16日(水) 2学年 道徳 「ゴール」

**【ねらい】**

感情的なすれ違いを乗り越えながら真の友情を築こうとする主人公たちの姿を通して、共に励まし合い、高め合って友情を深めようとする心情を育てる。

**【内容項目】** 2-(9) 友情, 信頼

**【資料】**新しい道徳2 P32

**【指導のポイント】**友情を深めていく手立てとして、直接の対話を大切にしつつ、アプリの有効な活用方法も、避けられない課題として考えていききっかけにする。

12月16日(水) 3学年 道徳 「ある日の午後から」

**【ねらい】**

主人公の心情の変化について考えることを通して、自主的な考えのもとに誠実に実行し、行動の結果に責任をもとうとする心情を育てる。

**【内容項目】** A-(1) 自主, 自立

**【資料】**新しい道徳3 P28

**【指導のポイント】**瞬時に影響が広がってしまうSNSの力と、それによって自分を見失ってしまうことのこわさ、自分を見つめなおすことの大切さに気付かせる。

## メディア利用に関わる学級活動

### 1. 題材「身近にひそむネット依存」

### 2. 目標

コンテンツ視聴や無料アプリなどの利用により、1日中インターネットの世界とのやりとりに夢中になり、ネット依存に陥った結果、学校生活や日常生活に支障を及ぼす危険性を理解するとともに、自己管理と適切なインターネットとの関わり方を主体的に実践できるようにする。

### 3. 内容の取扱い

特別活動 学級活動 (2)オ 望ましい人間関係の確立

キ 心身ともに健康で安全な生活態度や習慣の形成

### 4. 本時の展開

学習活動	指導のポイント
<p><b>(課題をつかむ)</b></p> <p>1 メディアアンケート結果を提示し感じたことを発表する。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・長時間インターネットを利用している生徒がいる。</li> <li>・利用している機器はゲーム、動画が多い。</li> </ul> <p>2 本時の課題を確認する。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 10px 0;"> <p>自分や友達が、ネット依存にならないようにするために、どうしたらよいか考えよう。</p> </div> <p><b>(原因を追求する)</b></p> <p>3 導入動画を視聴し、「なぜ手放せなくなったのか」「今後の展開」について、ワークシートに書き、グループで話し合い、共有する。</p> <p><b>【なぜ手放せなくなったのか】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・友達を失いたくない</li> <li>・すぐに反応しないと相手に悪い</li> <li>・話題についていけなくなる</li> <li>・次から次へのクリアする目標がある(ゲーム)</li> <li>・対戦相手が待っている(ゲーム)</li> </ul> <p><b>【今後の展開】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・昼夜逆転の生活になる</li> <li>・学校をやめるかもしれない</li> <li>・病気になる</li> <li>・就職ができなくなる</li> <li>・親ともめる</li> <li>・気づいてネットの利用をやめる・・・</li> </ul>	<p>・インターネットを利用している時間が長い生徒や、長時間利用することで体調が悪くなる生徒がいることを理解させる。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 10px 0;"> <p><b>(導入動画)</b></p> <p>スマートフォンが手離せなくなってしまったまさやさんの話です。なぜ、手放せなくなってしまったのか、その後起こりうる状況も考えながら見ましょう。</p> </div> <p>・主人公の気持ちになって「手放せなくなる」心理状態を考えさせ、その後の起こりうる状況に気付かせる。</p>

4 ネット依存と考えられるものの種類と問題点を確認する。

**【ネット依存】**

- ・コンテンツ依存
- ・つながり依存
- ・ゲーム依存

**【問題】**

- ・身体面 視力低下, 運動不足...
- ・精神面 昼夜逆転, 睡眠障害
- ・学業面 成績低下, 遅刻
- ・経済面 浪費, 他人のお金を盗む
- ・家族関係・対人関係 嘘をつく, 家族への暴言

5 ゲーム依存を例にし, ゲームをやめることができなくなる仕組みを理解し, オンラインゲームとどのように関わっていたらよいかを考える。

**(解決方法を考える)**

6 今, 自分がネット依存になっていないかチェックリストで確かめてみる。

7 自分の生活を見直す「デジタルデトックス」を作成する。

8 今日の授業を通してわかったことや気付いたことをワークシートにまとめる。

・まさやさんはネット依存と考えられる状態であること。

・ネット依存にはいろいろな種類やネット依存により引き起こされる様々な問題があることを理解させる。

・本人の意志が弱いからやめられなかったこと以外に, 役割と成長等オンラインゲームにのめり込ませる仕組みがあることを考えさせる。

・自分の依存度の状態を理解させる。

・デジタルデトックスの長所を理解し, 一日の時間の活用について見直す機会にする。

・メディアやネットの正しい関わり方を紹介するとともに, 今後の自己の生活につなげる。

## 12月16日(水) 1学年 道徳「言葉の向こうに」 指導案

### 【ねらい】

主人公の心情の変化について考えることを通して、自主的な考えのもとに誠実に実行し、行動の結果に責任をもとうとする心情を育てる。

### 【授業展開】

	学習の流れ	指導上の留意点
導入	<ul style="list-style-type: none"> <li>・前時の学級活動を通して、メディアやネットの利用にはどのような問題があるか、思い出し発表する。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・簡単に投げかけ、深入りはしない。</li> </ul>
展開	<ul style="list-style-type: none"> <li>・「言葉の向こうに」を読んで範読する。</li> <li>・発問①「必死で反論する加奈子の言葉が段々エスカレートするのはなぜだろうか。」</li> <li>・発問②「中傷する人たちと同じレベルで争わないで。」という書き込みを見て、加奈子はどのようなことを思っただろうか。</li> <li>・発問③「画面から目を離して椅子の背にもたれた加奈子は、どのようなことを考えていたのだろうか。」</li> <li>・発問④「異なるものの見方や考え方を受け止めながら、他の人とコミュニケーションを図っていくためには、どのようなことが大切だと思うか。」</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・A選手の悪口を言われっぱなしにできないという加奈子の心情を確認させる。</li> <li>・SNSでは相手が見えないので反論も書きやすい状況があることを理解させる。</li> <li>・悪いのは悪口を書いている方で、私は悪くないと自分を正当化しようとする加奈子の心理を確認する。</li> <li>・ネット上では直接の会話でないので、自分の言いたいことばかりで相手のことをじっくり考えられなかったことに気付かせる。</li> <li>・自分の発する言葉の向こうにそれを受け取る他者がいることを想像させ、ネット社会におけるコミュニケーションの在り方について考えさせる。</li> </ul>
まとめ	<ul style="list-style-type: none"> <li>・本時のまとめをする。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・今日の授業を振り返り、ワークシートに記入する。</li> </ul>

## 12月16日(水) 2学年 道徳「ゴール」指導案

### 【ねらい】

感情的なすれ違いを乗り越えながら真の友情を築こうとする主人公たちの姿を通して、共に励まし合い、高め合って友情を深めようとする心情を育てる。

### 【授業展開】

	学習の流れ	指導上の留意点
導入	<ul style="list-style-type: none"> <li>・前時の学級活動を通して、メディアやネットの利用にはどのような問題があるか、思い出し発表する。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・簡単に投げかけ、深入りはしない。</li> </ul>
展開	<ul style="list-style-type: none"> <li>・「ゴール」を読んで範読する。</li> <li>・発問①「5人の心のすれ違いが生まれた原因は何だろうか。」</li> <li>・補助発問「5人の溝が深まってしまったのはなぜだろうか」</li> <li>・発問②「リカの弟のことを聞いて、他の4人はそれぞれどんなことを考えたのだろうか。」</li> <li>・発問④「5人の心の中で何か変わったものがあるのだろうか」</li> <li>・発問⑤「友情を育てていくうえで大切にしなければいけないことを考えてみよう」</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・コミュニケーション不足やリカの練習態度が起因していることをおさえる。</li> <li>・誤解が生まれ、お互いの心がすれ違っていった背景に、メッセージアプリでのやりとりがあることを意識させる。</li> <li>・何が5人の心を変えたのか、問題解決的に捉えさせる。</li> <li>・相手の立場や意見を尊重しつつ、自分の思いや意見を丁寧に伝え、折り合いをつけることが大切。</li> </ul>
まとめ	<ul style="list-style-type: none"> <li>・本時のまとめをする。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・今日の授業を振り返り、ワークシートに記入する。</li> </ul>

## 12月16日(水) 3学年 道徳「ある日の午後から」指導案

### 【ねらい】

それぞれの立場を尊重し、いろいろなものの見方や考え方があることを理解して、寛容の心をもとうとする態度を育てる。

### 【授業展開】

	学習の流れ	指導上の留意点
導入	<ul style="list-style-type: none"> <li>・前時の学級活動を通して、メディアやネットの利用にはどのような問題があるか、思い出し発表する。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・簡単に投げかけ、深入りはしない。</li> </ul>
展開	<ul style="list-style-type: none"> <li>・「ある日の午後」を読んで範読する。</li> <li>・発問①「ひかるは、どのような気持ちで「冷たくされたの私だし。」と書き込んだのだろうか。</li> <li>・発問②「沙希が周囲を気にしながらどんどん暗くなっていくのを見て、ひかるはどう思っていたのだろうか。</li> <li>・発問③「夢から覚めたひかるは、次の日、家を出るまでに、どのようなことを考えたのだろうか」</li> <li>・補助発問「なぜ翌朝ひかるは自分から母に「行ってきます。」と言って、早く出かけたのだろうか。</li> <li>・発問④「今日の授業を通して感じたこと、また考えたことを発表し合おう。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・自分も悪かったと言い出せない気持ちに気付かせる。</li> <li>・「ひかるは自分がいじめをしているという自覚がどれぐらいあると思うか問う。</li> <li>・沙希に対する悪口を発表しないよう配慮する。</li> <li>・少し冷静になって自分を見つめられるようになったことに気付かせる。</li> <li>・これまでの自分を変えようとしていることを伝えたかったことに気付かせる。</li> </ul>
まとめ	<ul style="list-style-type: none"> <li>・本時のまとめをする。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・今日の授業を振り返り、ワークシートに記入する。</li> </ul>